KIISサイバーセキュリティ研究会　https://secure.kiis.or.jp/cybersecurity/
（主催：一般財団法人関西情報センター　共催：大阪商工会議所、一般社団法人組込みシステム技術協会近畿支部）

社内に必須。これからのセキュリティ人材に求められるスキルを学ぶ

セキュリティ人材育成プログラム

第1回：2016年10月12日（水）より開始（2コース、各10回）

関西初！　ビジネス実践的サイバーセキュリティ研修プログラム

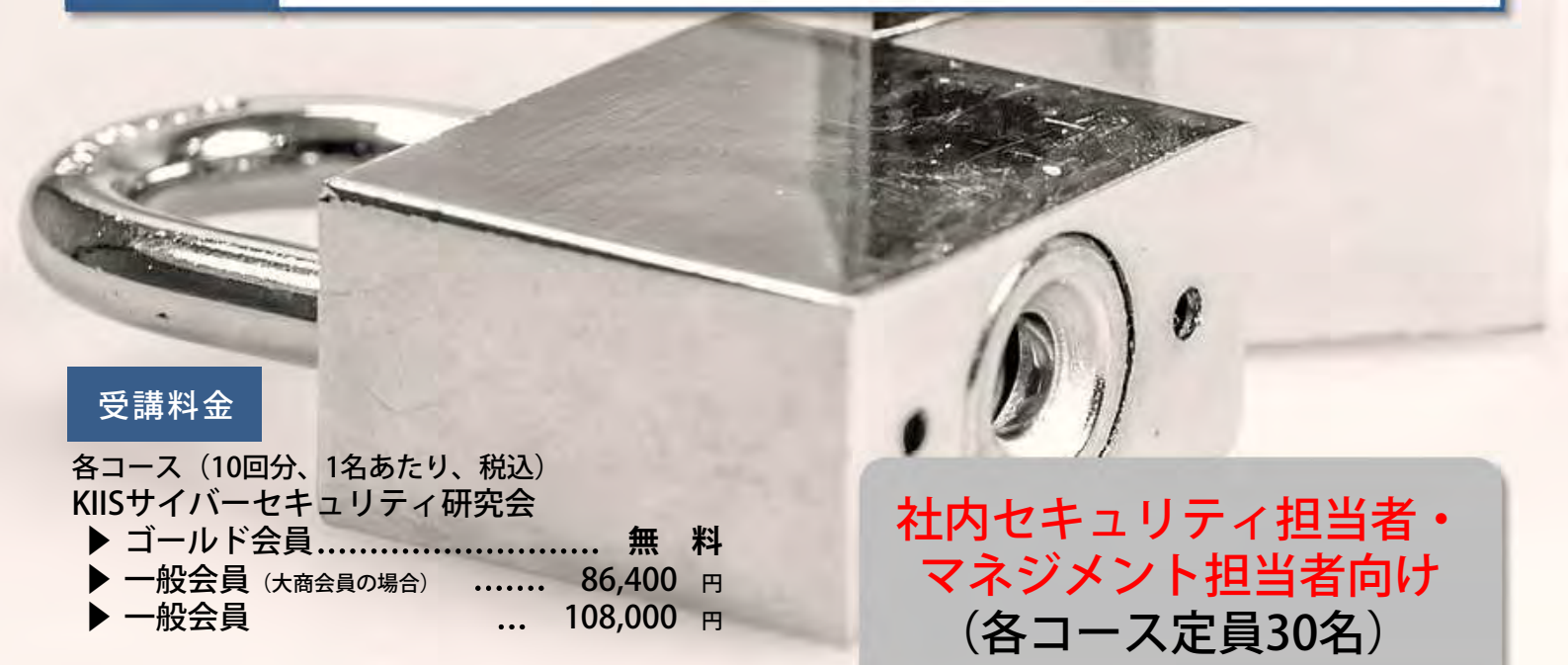
企業・組織に対するサイバー攻撃のリスクが高まる中、セキュリティを担当する人材の確保は今後ますます大きな課題となります。また、全ての対策を外部の専門業者に任せてしまうことも、コスト等の面から現実的ではありません。

日々のセキュリティ対策や、何かトラブルが発生したときの適切な対応など、社内人材のセキュリティスキルの向上は、これからのビジネス推進において必要不可欠となります。

今回、企業や組織がビジネスを推進する上で必要となる技術や制度について、サイバーセキュリティ関連各界の有識者を招聘し、すぐに役立つ実践的な内容の研修コースを設定しました。現場でセキュリティ対策に従事する担当者の方向けと、社内でセキュリティ対策部門をマネジメントする方向けの２つのコースを設定しています。

関西ではなかなかまとまった形で受講することができない、貴重なコースとなります。ぜひこの機会に受講をご検討ください。

ポイント１	サイバーセキュリティの各界最先端の講師によるオムニバス専門講座
ポイント２	演習等により、ビジネスの現場に則した実践的な取り組みを学ぶ
ポイント３	技術、法制度、運用など、すぐに使えるノウハウ満載



受講料金

各コース（10回分、1名あたり、税込）
KIISサイバーセキュリティ研究会

- ▶ ゴールド会員 …… 無　料
- ▶ 一般会員（大商会員の場合） …… 86,400 円
- ▶ 一般会員 … 108,000 円

※回ごとのスポット受講の場合

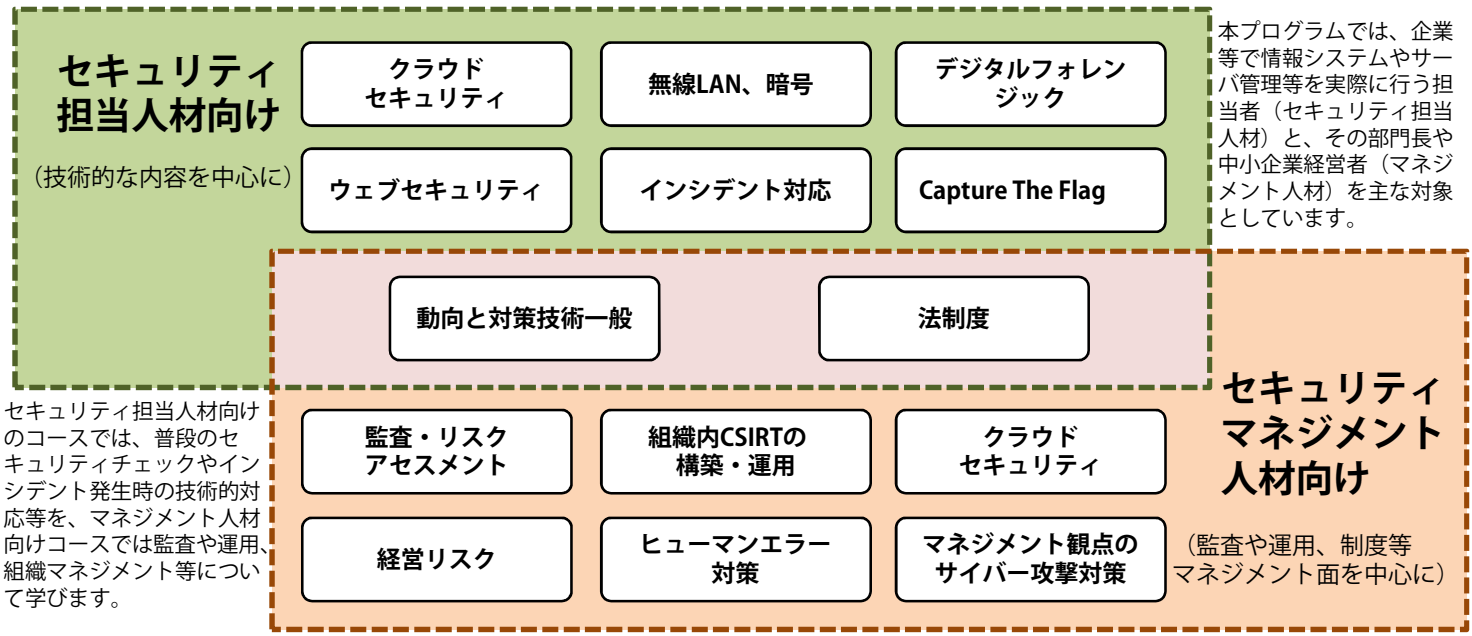
- ▶ 一般会員（大商会員の場合） ….. 16,200 円／回
- ▶ 一般会員 … 21,600 円／回

社内セキュリティ担当者・マネジメント担当者向け
（各コース定員30名）

コースの詳細は次ページをご覧ください。

KiiS 一般財団法人 関西情報センター

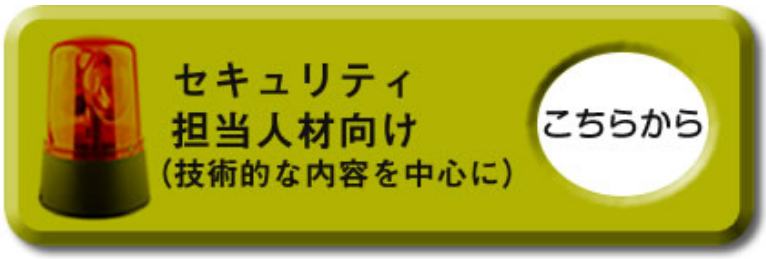
プログラムで学ぶこと（基本的な考え方）



本プログラムでは、企業等で情報システムやサーバ管理等を実際に行う担当者（セキュリティ担当人材）と、その部門長や中小企業経営者（マネジメント人材）を主な対象としています。

TOPへ

クリックすると内容と日程に移動します。FAX申込はこちら



TOPへ

セキュリティ担当人材向けコース（内容と日程）

（情報システム／セキュリティ部門の技術者・担当者などを対象　※それ以外の方の受講も可）

FAX申込はこちら

講習会場：両コースとも全て一般財団法人関西情報センター第１会議室

a-01	サイバーセキュリティ概論 ～ その動向と対策技術一般 ～
開講日	2016年10月12日（水）13:30～15:00
講義概要	主として、サイバーセキュリティとは何か、その問題点、対策について述べる。特にパスワードおよび認証システム、webアプリケーションの脆弱性、その攻撃方法、暗号実装における問題点、さらにマルウェアの仕組みについて述べる。また、それぞれの対策技術やそれらを使った製品群について解説する。
講師	**森井 昌克 氏**（神戸大学大学院工学研究科教授）

a-02	ウェブセキュリティ
開講日	2016年10月19日（水）15:30～17:00
講義概要	ウェブサイトに対するサイバー攻撃は依然継続的に行われている。現在の攻撃は多岐にわたり、様々なウェブサイトで被害が発生している。被害を受けたウェブサイトには何らかの脆弱性があると推察され、攻撃者はこれらの脆弱性を狙って執拗に攻撃を行っている。本講義では、日々行われているウェブサイトに対する攻撃手法と、これらの攻撃からウェブサイトを守るための対策を解説する。
講師	**松本 良宜 氏**（株式会社神戸デジタル・ラボ　セキュリティコンサルタント）

a-03	サイバー空間の秩序と情報法の役割
開講日	2016年10月27日（木）13:30～15:00
講義概要	サイバー空間は物に体現されない「情報」を扱うので、有体物が中心の現行法をそのまま適用することに限界がある。そこで勢い、法律だけでなく技術・市場の評価・第三者認証・倫理観などに依存せざるを得ないが、強制力に期待する場合には、やはり法律が不可欠である。本講義では、最新の研究成果を踏まえ、サイバー空間の秩序のための情報法の役割について、新しい考えを提起し、参加者との討論を通じて共に考える。
講師	**林 紘一郎 氏**（情報セキュリティ大学院大学教授）

a-04	無線ＬＡＮ周辺とその脆弱性対策 ～ 暗号の実装とその問題点 ～
開講日	2016年11月9日（水）15:00～17:00
講義概要	無線ＬＡＮの利用における問題点とその対策を中心に解説する。特に無線ＬＡＮ暗号の脆弱性、それを用いた盗聴やシステムダウンについて述べる。また暗号実装全般について解説するとともに、暗号に対する正しい認識を与える。
講師	**森井 昌克 氏**（神戸大学大学院工学研究科教授）

a-05	デジタルフォレンジック
開講日	2016年11月18日（金）15:00～17:00
講義概要	最近のHDDの容量が膨大になっており、本来のHDD解析によるデジタル・フォレンジックが困難となってきている。また、HDDにそもそもアクセスしないマルウェアが増えてきたので、インシデント対応・フォレンジック調査をする際にメモリ解析が不可欠になってきた。このコースではメモリ解析の基本を解説する。
講師	**マシス・ザッカリー 氏**（株式会社神戸デジタル・ラボ　セキュリティコンサルタント）

a-06	インシデント対応
開講日	2016年11月29日（火）13:30～15:00
講義概要	組織で情報セキュリティ事故（インシデント）が発生した時、組織としてどのような対応を行うべきかを学ぶ。特に組織の内外への情報発信や、原因の調査過程における行動について、事例に基づいて体系的に学習する。また、事故発生直後の対応について、ディスカッションなどを通して検討し、事故対応に必要なアクションや事前準備を洗い出す。
講師	**富田 一成 氏**（株式会社ラック セキュリティアカデミー）

a-07	クラウドセキュリティ（１）理論
開講日	2016年12月14日（水）13:30～15:00
講義概要	クラウドコンピューティングは、今や私たちの業務や生活で欠かせないインフラとなっている。このコースでは、まずそのクラウドコンピューティングを利用したビジネスの特徴や、クラウドサービスの特徴を整理する。その上で、クラウドコンピューティング導入にあたっての技術リスクや利用リスクのポイントについて説明する。
講師	**長谷川 長一 氏**（株式会社ラック 理事）

a-08	クラウドセキュリティ（２）実践
開講日	2016年12月14日（水）15:00～17:00
講義概要	このコースでは、クラウドコンピューティングの台頭によりもたらされた様々な変化の本質と、担当者が取り組むべきセキュリティ課題を解説する。クラウドコンピューティングの力を活かしつつ、最も不安とされるセキュリティに関する実践的取り組みを解説する。
講師	**吉田 雄哉 氏**（日本マイクロソフト株式会社　Azure テクニカルソリューションプロフェッショナル）

連続受講

a-09	CTF実践（１）
開講日	2016年12月19日（月）13:00～15:00
講義概要	CTF（Capture The Flag）とは、全世界で毎週のように行われているセキュリティ技術の競技である。ゲーミフィケーション的観点からも高い教育的な効果が認められるイベントで、近年企業の中の教育でも活用されている。この時間は概要と期待効果、必要な技術などを説明し、さらには企画運営などのイベント主催側に関わることも説明した上で、競技を実体験する。
講師	**園田 道夫 氏** （情報通信研究機構　セキュリティ人材育成研究センター長）

a-10	CTF実践（２）
開講日	2016年12月19日（月）15:00～17:00
講義概要	(1)に引き続き、CTF（Capture The Flag）の実体験、およびイベントのまとめとしての答え合わせや問題解説を行う。また、応用型イベントについても概説し、イベントと大学（院）のカリキュラムの関係性や、社内教育への活用と期待効果についても説明する。
講師	**園田 道夫 氏** （情報通信研究機構　セキュリティ人材育成研究センター長）

連続受講

※　各回の曜日、開催時間は同一ではありません。ご注意ください。

※　a-06とa-07 、 a-09とa-10 はそれぞれ2回分連続受講を前提とします（途中休憩あり）。

FAX申込はこちら

TOPへ

マネジメント人材向けコース（内容と日程）

（情報システム／セキュリティ部門の部門長などを対象　※それ以外の方の受講も可）

（大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階）

FAX申込はこちら

b-01	サイバーセキュリティ概論 ～ その動向と対策技術一般 ～
開講日	2016年10月12日（水）15:30～17:00
講義概要	主として、サイバーセキュリティとは何か、その問題点、対策について述べる。特にパスワードおよび認証システム、webアプリケーションの脆弱性、その攻撃方法、暗号実装における問題点、さらにマルウェアの仕組みについて述べる。また、それぞれの対策技術やそれらを使った製品群について解説する。
講師	**森井 昌克 氏**（神戸大学大学院工学研究科教授）

b-02	クラウドセキュリティ理論
開講日	2016年10月18日（火）15:30～17:00
講義概要	クラウドコンピューティングは、今や私たちの業務や生活で欠かせないインフラとなっている。このコースでは、まずそのクラウドコンピューティングを利用したビジネスの特徴や、クラウドサービスの特徴を整理する。その上で、クラウドコンピューティング導入にあたっての技術リスクや利用リスクのポイントについて説明する。
講師	**長谷川 長一 氏**（株式会社ラック 理事）

b-03	サイバー空間の秩序と情報法の役割
開講日	2016年10月27日（木）15:30～17:00
講義概要	サイバー空間は物に体現されない「情報」を扱うので、有体物が中心の現行法をそのまま適用することに限界がある。そこで勢い、法律だけでなく技術・市場の評価・第三者認証・倫理観などに依存せざるを得ないが、強制力に期待する場合には、やはり法律が不可欠である。本講義では、最新の研究成果を踏まえ、サイバー空間の秩序のための情報法の役割について、新しい考えを提起し、参加者との討論を通じて共に考える。
講師	**林 紘一郎 氏**（情報セキュリティ大学院大学教授）

b-04	経営者が考えるべき リスクベースのセキュリティ対策
開講日	2016年11月17日（木）15:30～17:00
講義概要	セキュリティインシデントはもはや経営課題となっている。これから求められるのは、経営層と現場の意識の乖離を縮め、必要なセキュリティ対策に予算化、実行することである。その際に必要なリスクをどう見える化するのかを解説する。また昨年末に経産省から公表された「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」についても、経営層にとってどう解釈するのかを説明する。
講師	**三木 剛 氏**（株式会社神戸デジタル・ラボ　取締役 セキュリティソリューション事業部長）

b-05	情報セキュリティの評価と検証（監査）・ リスクアセスメント(1) ～リスクアセスメント～
開講日	2016年11月30日（水）13:30～15:00
講義概要	情報セキュリティ対策は、把握したリスクに応じた対策を立案し、実施することが重要である。本講座では、脅威、脆弱性、リスクの関係を改めて整理し、リスクアセスメントの重要性、進め方、方法について 説明する。また、対策を考えるさいに考慮すべき情報セキュリティ運用についても説明する。
講師	**嶋倉 文裕 氏** （NPO日本ネットワークセキュリティ協会西日本支部長）

連続受講

b-06	情報セキュリティの評価と検証（監査）・ リスクアセスメント(2)　～検証（監査）～
開講日	2016年11月30日（水）15:00～17:00
講義概要	情報セキュリティ対策が遵守されているか、無効化されていないか、運用状況を定期的に確認することが重要である。本講座は情報セキュリティ対策の検証（監査）の基準、推進に必要な体制や、情報セキュリティポリシーで記載すべき事項、また検証（監査）で把握した課題の改善で考慮すべきことなどについて 説明する。また、情報セキュリティ対策の検討、実施時に運用を考慮することの重要性を説明する。
講師	**嶋倉 文裕 氏** （NPO日本ネットワークセキュリティ協会西日本支部長）

b-07	経営リスクと情報セキュリティ （組織内CSIRT構築・運用）（1）
開講日	2016年12月15日（木）13:30～15:00
講義概要	最近の事例に見るとおり、インターネットを取り巻く脅威は様々な形で、企業の情報資産を脅かしており、サイバーセキュリティは、見過ごせない経営上のリスクとなっている。巧妙化するサイバー攻撃に対応するためには、攻撃者の動向にも目を向けつつ、事前の準備に加えてインシデント時に迅速に対応出来る体制を構築する必要がある。本コースでは、最近の攻撃動向をわかり易く説明し、組織としてどのように立ち向かっていくべきかについて講演者の経験や知見をもとに解説する。
講師	**満永 拓邦 氏** （一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター）

連続受講

b-08	経営リスクと情報セキュリティ （組織内CSIRT構築・運用）（2）
開講日	2016年12月15日（木）15:00～17:00
講義概要	最近の事例に見るとおり、インターネットを取り巻く脅威は様々な形で、企業の情報資産を脅かしており、サイバーセキュリティは、見過ごせない経営上のリスクとなっている。巧妙化するサイバー攻撃に対応するためには、攻撃者の動向にも目を向けつつ、事前の準備に加えてインシデント時に迅速に対応出来る体制を構築する必要がある。本コースでは、最近の攻撃動向をわかり易く説明し、組織としてどのように立ち向かっていくべきかについて講演者の経験や知見をもとに解説する。
講師	**満永 拓邦 氏** （一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター）

b-09	セキュリティ運用（1） サイバー攻撃対策
開講日	2016年12月21日（水）13:30～15:00
講義概要	標的型攻撃、ランサムウエア、DDoS、フィッシング等、様々なサイバー攻撃により、企業が脅威にさらされている。 このコースでは、CSIRT（インシデント対応体制）を構築・運用を始めたあとに、攻撃などの外部からの脅威への対策としてマネジメントをする者としてどのようなことをすべきか、解説する。
講師	**長谷川 長一 氏**（株式会社ラック 理事）

連続受講

b-10	セキュリティ運用（2） ヒューマンエラー対策
開講日	2016年12月21日（水）15:00～17:00
講義概要	企業は外部からのサイバー攻撃だけではなく、従業員によるヒューマンエラーという内部からの脅威にも対策が必要になる。 このコースでは、CSIRT（インシデント対応体制）を構築・運用を始めたあとに、ヒューマンエラーなどの内部からの脅威への対策としてマネジメントをする者としてどのようなことをすべきか、解説する。
講師	**長谷川 長一 氏**（株式会社ラック 理事）

※　各回の曜日、開催時間は同一ではありません。ご注意ください。

※　b-05とb-06 、 b-07とb-08 、 b-09とb-10 はそれぞれ2回分連続受講を前提とします（途中休憩あり）。

FAX申込はこちら

KIISサイバーセキュリティ研究会　人材育成プログラム受講申込書（大阪商工会議所用）

FAX送付先　：　06－6346－2443
郵　送　先　：　〒530-0001　大阪市北区梅田 1 丁目 3 番 1-800 号　大阪駅前第1ビル8階
　　一般財団法人関西情報センター　事業推進グループ　KIIS サイバーセキュリティ研究会担当　宛
Email 送付先　：　rstaff@kiis.or.jp

一般財団法人関西情報センター　殿

機関名	TEL　　－　　－	
お申込者所属・氏名	所属 氏名	
住所	〒	
Eメールアドレス		
機関属性 （☑を記載ください）	☐ KIISサイバーセキュリティ研究会 ゴールド会員（1名受講無料）	
	☐ 一般会員	☐ 大商会員　（各地商工会議所が運営するザ・ビジネスモールのサイト （ザ・ビジネスモール掲載企業）　http://www.b-mall.ne.jp/ でご確認ください。 ザ・ビジネスモールに掲載された事業所の方は ☐ 一　般　大商会員価格を適用いたします。）
申し込みコース （☑を記載ください）	☐ セキュリティ担当人材向けコースa（10回受講） ☐ マネジメント人材向けコースb（10回受講） ※両コースともゴールド会員1名無料、一般会員86,400円（大商会員）、108,000円（大商会員外）	
※本欄はスポット受講を希望される方のみご記入ください 受講希望回 （☑を入れてください） （複数可）	＜セキュリティ担当人材向けコース＞ ☐ a-01 サイバーセキュリティ概論 ☐ a-02 ウェブセキュリティ ☐ a-03 サイバー空間の秩序と情報法の役割 ☐ a-04 無線LAN周辺とその脆弱性対策 ☐ a-05 デジタルフォレンジック ☐ a-06 インシデント対応 ☐ a-07 クラウドセキュリティ（1）理論 ☐ a-08 クラウドセキュリティ（2）実践 ☐ a-09 Capture The Flag （1） ☐ a-10 Capture The Flag （2）	＜マネジメント人材向けコース＞ ☐ b-01 サイバーセキュリティ概論 ☐ b-02 クラウドセキュリティ理論 ☐ b-03 サイバー空間の秩序と情報法の役割 ☐ b-04 経営者が考えるべきリスクベースのセキュリティ対策 ☐ b-05 情報セキュリティの評価と検証（監査）・リスクアセスメント（1） ☐ b-06 情報セキュリティの評価と検証（監査）・リスクアセスメント（2） ☐ b-07 経営リスクと情報セキュリティ（組織内CSIRT構築・運用） ☐ b-08 経営リスクと情報セキュリティ（組織内CSIRT構築・運用） ☐ b-09 セキュリティ運用（1）サイバー攻撃対策 ☐ b-10 セキュリティ運用（2）ヒューマンエラー対策
	☐ 大商会員（16,200円）または ☐ 一般（21,600円））× ☑の数（　）個 ＝　　円	

◆個人情報の取り扱いについて◆
当財団は、プライバシーマークを認定付与され、JISQ15001:2006に準拠した個人情報保護マネジメントシステムを運用しており、次のように個人情報を取り扱います。
○ 事業者：一般財団法人関西情報センター
　個人情報保護管理者：総務企画グループ マネジャー TEL 06-6346-2441
○ 個人情報の利用目的　申込書にご記入いただいた個人情報については、下記の目的で利用させていただきます。
　・事業実施に関するご連絡やご案内、会費請求等事務処理のため
　・当財団が主催する普及啓発事業に関する案内を送付するため
　・その他、研究会運営に関する事務業務のため

○個人情報の共催団体への照会や取り扱いの委託
　ご記入いただきました個人情報につきましては、大阪商工会議所ほか共催団体への照会やその取り扱いの一部を委託する場合がございます。（郵送送付代行者など）
○ 開示対象個人情報の開示等および問い合わせ窓口
　ご本人からの求めにより、当財団が保有する開示対象個人情報について、「利用目的の通知」、「開示」、「訂正、追加または削除」、「利用の停止、消去又は第三者への提供の停止」に応じます。　事業推進グループ　TEL 06-6346-2641
○ ご本人が個人情報を与えることの任意性及び与えなかった場合の影響
　個人情報の項目への記入は任意ですが、必要とする個人情報の項目についてご記入がない場合は、当該事業へ参加をお断りする場合があります。

本書を郵送にてお送りいただく際には、必ず控え（コピー）をお手元にお持ち下さい。

（2016.09.13）